行政研修（課長補佐級）リーダーシップ研修	試行	通勤 通勤 通勤 通勤※1 通勤※1 通勤※1 通勤※1	1.21 2. 4 2.15～17，21，25（いずれか１日） 5.27 6. 1 6. 4 6.22	※2 28	—	—	—
行政研修（課長級）	第202回	合宿	7.12～16	29	2	7	—
	第203回		8. 4～ 7	29	1	9	—
	第204回		10.13～16	24	—	9	—
	第205回		11. 8～12	27	1	10	—
行政研修（係員級特別課程）	第９回	通勤 合宿	11. 8～12 11.15～19	51	—	—	—
	第10回	通勤 合宿	2. 7～10 2.14～18	54	—	—	—
行政研修（係長級特別課程）	第23回	通勤 合宿	10.18～20 10.25～29 10.21～22	25	—	—	—
	第24回	通勤 合宿	11.29～12. 3 12. 6～10	45	—	—	—
	第25回	通勤 合宿	1.17～21 1.24～28	48	—	—	—
行政研修（課長補佐級特別課程）	第17回	通勤 合宿	8.23～27 8.30～ 9. 3	34	—	—	—
	第18回	通勤 合宿	2.21～25 2.28～ 3. 4	41	—	—	—
行政フォーラム（本府省課長級）	第89回	通勤	4.23	33	—	—	—
	第90回	通勤	5.14	29	—	—	—
	第91回	通勤	6.25	44	—	—	—
	第92回	通勤	7. 1	38	—	—	—
	第93回	通勤	7. 8	42	—	—	—
	第94回	通勤	9.10	20	—	—	—
	第95回	通勤	10. 8	32	—	—	—
	第96回	通勤	1.21	87	—	—	—
	第97回	通勤	2.25	51	—	—	—
行政フォーラム（本府省幹部級）	第５回	通勤	4.19	15	—	—	—
	第６回	通勤	1.21	19	—	—	—
幹部行政官セミナー（アスペンメソッド）		合宿	8. 4～ 7	13	—	6	—

(注)※１　平成23年度に実施

※２　行政研修（課長補佐級）リーダーシップ研修は、平成23年度に終了するため、修了者数は３月末時点の受講者数である。

※３　地方公共団体からの参加者数であり、いずれも各府省から地方公共団体へ出向中の者である。

⑴　国家公務員合同初任研修

将来、行政運営の中核的な要員になると期待される新規採用職員（各府省の行政職俸給表(一)２級の官職（これに相当すると認められる官職を含む。）に採用された直後の職員）を対象に、総務省と共同で３日間の初任研修を実施している。

平成22年度は、公務員の在り方に関する講演等のほか、公務員の服務・倫理についての講義・演習、各府省の人事管理官及び課長補佐などを迎えての班別演習を中心として実施した。

⑵　初任行政研修

⑴の合同初任研修対象者のうち、将来、本府省において政策の企画・調整の衝に当たることが期待される者を対象に、４コースに分けて５週間の研修を実施している。

平成22年度は、介護等実地体験、地方自治体実地体験等のほか、研修員８～９人の班別に、長期的視点に立って政策提言をまとめる「政策課題研究」、歴史的意義の大きい行政政策の事例を題材とした「行政政策事例研究」などからなるカリキュラムにより実施した。また、現職の事務次官等による行政官としての心構えについての講話や、公務員倫理に関する講義・演習等を実施した（表２－２）。

表２－２　平成22年度初任行政研修カリキュラム

分類	科目	時間数	ねらい
国民全体の奉仕者としての使命と職責について考える	行政官として	4.5	各府省の事務次官から、行政官としての心構え等に関する講義を聞いた上で、期待される国家公務員の在り方について、レポートにまとめることにより、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える	2.5	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機づけを図る。
	古典に学ぶ	2.5	行政官が学ぶにふさわしい課題を取り扱った古典を読み、与えられた課題や論点等について自ら考え、討議、意見交換を行うことにより、行政官として必要な深い思索力をかん養する。この科目を通じ、物事の根源に立ち返って考えることや、じっくりと深く考え抜くことの重要性を理解させる。
	人権	2.5	障害者、犯罪被害者等、人権問題に直面した者から自らの経験に基づく話を聞き、我が国が抱える人権問題の現状を認識するとともに、基本的人権に対する意識を高める。
	メディアから見た行政	2.5	行政に求められる説明責任や透明性、パブリックオピニオン等に関する講義を通じ、国家公務員としていかにメディアと関わっていくべきか、メディアを通じて行政が意思表示するに当たって重要な観点は何か等について考える。